

普及啓発活動

令和7年10月18日「笠間の菊まつり」開催を前に、会員42名により稲荷神社周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、毎年10月1日から31日の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせたものであり、全国的にも様々な取り組みが行われています。

今後も市民の皆様のお役に立てるような活動を続けてまいります。



事務局だより

料金改定のお願い

令和7年10月からの茨城県最低賃金改定を受け、令和8年4月より配分金（賃金）、材料費、道具代の料金改定を行います。物価高騰のおり大変恐縮ではございますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度

ご予約を受付ます

令和8年4月からの草刈、草取り、植木剪定のご予約を承っております。ご予約に際しまして、危険箇所、重労働、作業場所の環境等でお受けできない場合もございますので、お申込み時にいくつか確認させていただきます。

なお、草刈作業と除草剤散布をご予約の場合、合わせて年3回までとさせていただきます。

また、草取りの作業については、旧笠間地区のみの受付となります。

これらの作業につきましては、会員数の減少による労働力の不足、天候等にも左右されるためご希望に沿えずご迷惑をおかけしますこと、大変心苦しくお詫び申し上げます。障子・襖・網戸の貼り替え作業については、随時受け付けております。

契約方法の変更について

令和8年4月より、公共事業、民間事業のお客様に関し、作業をさせていただく際には必ず書面での契約が必要になります。新たな契約方式では、三者間の包括契約となります。発注者は「シルバー人材センター利用規約」と「会員業務就業規約」に同意のうえ、センターと「利用契約」を締結します。センターは、「利用契約」をもとに「会員業務仕様書」を作成し、発注者の代わりに、会員に就業条件を明示します。会員は、この「会員業務仕様書」に同意すること、発注者と会員の間に請負委任契約が生じ、これにより、発注者、センター、会員間の包括契約関係が成立します。

詳細については、事務局にお問い合わせください。

互助会だより

女子会開催



第2回女子会を「フレンチ食堂アルモニ」にて、昨年の反省を生かし、より多くの方々にご参加をいただくため、令和7年10月9日・10日の2日間にわたり開催いたしました。37名の女性会員にご参加をいただき、それぞれ好きなメイン料理のフルコースに舌鼓を打つことができました。今後も皆さんからのご意見をいただきながら、楽しみのあるシルバー人材センターづくりをしていきますのでご協力をお願いします。

編集後記

昨年の出来事を振り返れば、暑い夏でした。今年の夏も暑くなるのですね。冷夏という言葉は、しばらく聞かないように思います。暑さ対策がますます重要になってくると思われます。

さて昨今、高齢化社会の到来と言われているようですが、家の周りの、雑草または庭木の手入れ等が出来ない家を見かけるようになりました。今後はこのような仕事はシルバーでは増えるのではないかと思います。

最後になりましたが、この所インフルエンザ感染症が増えているようなので、健康には気を付けて過ごしていただけたらと思います。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。総務部会 仲村 信義

第38号

令和8年1月20日

発行 (公社)笠間市シルバー人材センター
編集 総務部会
住所 笠間市石井717番地
電話番号 0296-73-0373

令和7年度運営状況報告

(4月～12月)

会員数・就業状況

	男性	女性	合計
会員数	172名	81名	253名
就業実人員			222名
就業率		87.7%	

事業実績

公共受注額	42,130,993円
民間等受注額	85,300,722円
受注額合計	127,431,715円
受注件数	1,829件



新年のご挨拶

理事長 岩田 孝司

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、市民の皆様をはじめ、笠間市、各企業の皆様方には、当シルバー人材センターの運営等に対しまして、格別なご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、シルバー人材センターにおいては、地域に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加を促進し、充実した人生と、健康保持の増進を目指し、ひいては地域社会の活性化や生涯現役社会実現の担い手となるよう努めておりますが、年金支給年齢の引き上げに伴う企業の雇用制度の変化等により、入会する会員が減少傾向にあります。このため一部の作業においてお客様からの需要に充分に応え

られない状況となっているのが現状です。このような状況下ではありますが、新規受託事業への積極的な対応や、特に女性会員の入会促進対策の一環として、「女性向けの入会説明会」を実施する等、会員の拡充を目指す取り組みを展開しております。

また、地域の皆様の信頼を得るためにも、「安全就業」の更なる構築を目指すと共に、会員相互間の交流を促進し、「生きがいのあるシルバー人材センター」を目指し取り組みを進めているところです。

早くも昨年からインフルエンザの感染者が増加しております。日常生活においても油断せず、健康管理にしっかりと努めていただきたいと思います。

結びに、皆様におかれまして本年が実りのある飛躍の年になりますよう、ご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

市長挨拶

笠間市長 山口 伸樹様



新年明けましておめでとうございます。

笠間市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、笠間市の行政運営の推進に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化や定年延長などの影響によりシルバー人材センターの会員数は減少しており、加えて昨今の物価高騰の影響もあり事業環境も厳しいものとなっております。

こうした状況下でセンターの活力を維持・発展させるためには、新規入会者の確保や、女性会員の拡大、そして意欲ある方々が長く働き続けられるための退会抑制への取り組みが一層重要になっております。

皆様が「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、豊富な知識や経験を活かし、活力ある地域社会づくりに貢献し続けてこられたことに、改めて深く敬意を表します。

市といたしましても、誰もが役割を持つて暮らせる地域共生社会の実現に向け、その一翼を担うシルバー人材センターの運営を引き続き支援してまいります。

皆様におかれましては、会員拡大への取り組みとともに、時代や地域のニーズにも応じた新たな就業先の開拓にも取り組まれ、ますます発展されますことをご期待申し上げます。

結びに、笠間市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶いたします。

●発注者の声

社会福祉法人

笠間市社会福祉協議会

事務局長

富施

信行様

新年明けましておめでとうございます。
笠間市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当協議会は、「地域福祉の推進役」として、地域の皆様が福祉活動に積極的に参加する「住民参加」や「住民主体」を一つの理念として、地域が抱える様々な生活上の問題などをみんなで考え、話し合い、協力して解決を図り、福祉コミュニティづくりと地域福祉活動の推進を図っています。その活動拠点である、笠間市地域福祉センターともべを本所、地域福祉センターいわまを岩間支所として笠間市より管理者として指定を受け管理を担っております。また、笠間市石井にある当協議会笠間支所事務所の施設も管理をしております。施設利用においては、地域福祉に関するボランティアの方々をはじめ地域住民が福祉活動や事業を行う際に広く活用されています。笠間市シルバー人材センターの皆様には、長年にわたり施設内の日常清掃を年間を通じて作業していただき、時には敷地内の草刈などでも大変お世話になっております。

会員の皆様の丁寧な作業のお陰で、施設を利用するみなさまに気持ちよく活用されていることに感謝申し上げます。
結びになりますが、笠間市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



笠間支所



岩間支所



本所

2026 年男・年女 今年の抱負



矢吹 枝美子

(岩間地区)

一昨年より芸術の森公園インフォメーション

ンセンターの仕事に就いています。
不安なスタートでしたが、先輩の方々の体験談を伺えた事が大変心に響きました。「おもてなし」という聞き慣れてしまった言葉について改めて深く考えさせられました。歴史と陶芸の街笠間の入り口としての役割を自覚し、誇りをもって一人ひとりのお客様に丁寧接客する事の大切さを教えていただきました。私もその一翼を担えるよう頑張りたいと思います。

齋藤 茂之

(友部地区)

私は六十八歳まで会社員として働いていました。東京の芝浦本社には朝六時半の特急で通勤し、冬の寒さが身にしみました。退職後は手持ち無沙汰で、社会との繋がりが薄く感じていました。そんな時、シルバー人材センターのチラシを見て応募し、現在は知人の紹介で週三日程度、植木剪定の仕事をしています。

「人生100年時代」

と言われていています。健康に留意し今後も誠実で丁寧な仕事を心がけお客様の要望に応えていきたいと思っています。



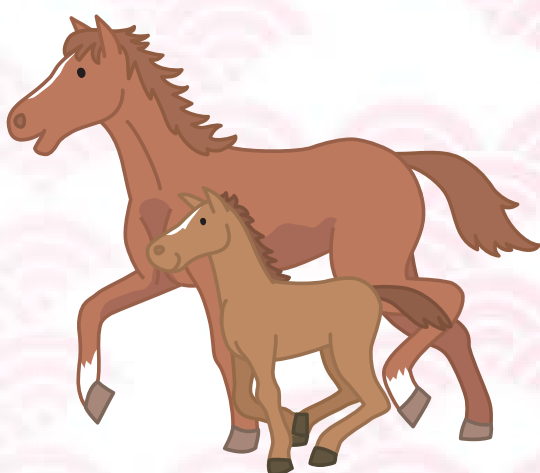
森野 徳正

(岩間地区)

明けましておめでとうございます。

今年は年男。前回の還暦の時はまだ現役で働いておりました。六十五歳になってシルバー人材センターに応募し、会員となって草刈作業を続けております。はた目には大変そうに見える作業ですが、仲間から恵まれ仕事が完了したときや、お客様から喜ばれたときの思いが今日までの心のよりどころとなっております。一時は大腸癌が見つかったり脊柱管狭窄症で歩けなくなったりしましたが、現在はいずれも完治し毎日動けることに感謝しております。

あと何年できるか不明ですが、健康に留意しながら続けていこうと思っております。



「人生100年時代を健康に美しく生きる！」



令和7年11月4日(公社)茨城県シルバー人材センター連合会主催による高齢者活躍人材確保成事業の一環として、新規シルバー会員向けセミナーが開催されました。ホテルレイクビュー水戸に於いて、第一部を「シルバー人材センターガイダンス」としてシルバー人材センターの事業紹介などが行われました。

第二部は人気テレビシリーズ「水戸黄門」でお馴染みの女優由美かおる氏をお迎えし、「心と体の健康 若々しさ・美しさを保つ秘訣！」と題し、実践を交え参加者も軽く汗をかきながら楽しい講演をしていただきました。

ご自身が開発された呼吸法とストレッチを融合させた「由美ブリージング」の指導を通じて世界の高齢者に向け「健康と美」をテーマに講演活動をされていることでした。

人生100年時代と言われる昨今、健康で輝く人生を生きるため、何かを始めてはいいかがですか。シルバー人材センターがその一助となれば幸いです。

